

有水晶体眼内レンズ手術 動画付

神谷 和孝, 清水 公也 ● 編

B5・頁252
定価: 19,800円(本体18,000円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-05056-2

有水晶体眼内レンズは、眼科医のみでなく一般の方にも認知されるようになり、近年、その手術件数は増え続けている。本書は『有水晶体眼内レンズ手術』と題されているが、実際には、数あるレンズの中で最も普及し、国内承認を得ている Implantable collamer lens: ICL(アイ・シー・エル) 挿入に関する内容である。

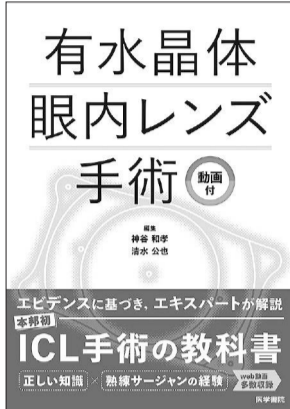
さて、この ICL は、編集の労を取られた清水公也先生の地道な臨床例の積み重ねに加え、一般眼科医が思いつかない独自のアイデアによって、今日の普及に至ったと思う。白内障手術時の無水晶

体眼に用いる眼内レンズは、前房型、虹彩把持型、後房型と複数のデザインが登場し、最終的に残ったのが後房型である。有水晶体眼に挿入する眼内レンズも同様のデザインで開発されたが、水晶体を温存した有水晶体の状態で挿入するため、水晶体への影響、すなわち白内障の併発が懸念された。その水晶体に最も近い位置に挿入する後房型の ICL であるが、清水先生が巻頭言で述べられているように、レンズの中央に貫通孔を設けるといふ奇想天外なアイデアで、術後の房水循環不全による白内障の軽減を実現させた。そして、もう1人の編集者である神谷和孝先生らとともに、基礎実験に加え、臨床例を国内外の学会で報告かつ論文文化し、ICLの安全性と有効性を世界中の眼科医に納得させるまでに至った。

このように、ICLを最も知り尽くしていると言っても過言ではない編集者のもと、臨床経験豊富な著者が加わって完成された本書は、ICLについて学びたい初心者から熟練者にとって、他に類のない至れり尽くせりの内容となっている。実際に挿入を始めたい場合に必要な講習会の受け方から認定手術のチェックポイントが詳しく説明さ

れ、術前検査と適応判断は、読者があたかも著者と一緒に検査結果をみながら適応を決め、度数決定まで進むような流れになっている。ICL手術で重要なサイズ決定は、最近の論文で注目されている AI を用いた方法まで紹介され、すでに ICL 手術を行っている眼科医も知識のアップデートができる。手術手技は、ウェブ動画で ID とパスワードを入力することで、プログラムから選択可能となっている。実際に動画を見せていただき、とても洗練された手術であることはもちろん、画像のセンタリングからピント合わせまで、

読みやすく、情報を見つけやすい。ICL手術の良書



教育用画像として細かな気配りがなされたものであると感じた。また、症例を重ねれば起こり得る合併症への対応、応用編としてのピギーバック法まで含まれていて、どのレベルの眼科医にとっても、申し分のない内容となっている。

最後に、このような1つの手技に関して複数の著者で執筆された本は、各著者の章で内容が重複していたり、知りたい情報が書かれている章を探すのに時間を要したりすることがある。本書は、最初から最後まで、あたかも1人の著者がまとめたような読みやすさであり、特定の情報を見つけやすい構成になっている。海外でも ICL に関する多くの著書が出版されている中、本書のように基礎から実技、応用まで非常に読みやすく、またコンパクトにまとめた本は筆者の知る限り出版されていない。海外の眼科医が本書の特徴を知ったらぜひ英語版を希望することは間違いなく、非常に有用な本である。本書は、ICL手術をする眼科医のみならず、関係する眼科スタッフ、また ICL 希望症例や術後症例の診療をなさる眼科医にぜひ熟読いただきたい。

視点

疎性結合組織に着目することで理学療法をアップデートする

工藤 慎太郎 森ノ宮医療大学インクルーシブ医科学研究所 教授



「理学療法のベースは、解剖学と生理学と運動学である」と、学生時代から耳にタコができるほど聞いてきました。困ったら、解剖学や運動学に立ち戻るべし、と。しかし、筋の起始と停止、神経支配、作用を丸暗記して、国家試験での出題範囲を何度もやり直す。このような勉強で、臨床で生じている疑問は解決できるのでしょうか？

筆者の経験では、上記の勉強方法で臨床の疑問は解決できませんでした。しかし、解剖学や運動学の知識があると、「なぜ、動かないのか?」「どこが壊れているのか?」を推測はできるようになります。ただし、あくまで推測の域を出ず、ともすると理学療法士の思い込みになってしまっている一面もありました。その影響もあり、手から手へと伝えられる手技が神格化され、非科学的な解釈を聞き入れざるをえない状況になっていたところもあります。

◆超音波画像によるゲームチェンジ

10年ほど前から、超音波画像(エコー)で運動器を詳細に見られるようになり、ゲームチェンジが起きました。エコーによって、理学療法が患者の体の中にもたらず変化を可視化できるようになったのです。

2013年に立ち上げた「形態学と運動学に基づく理学療法研究会(MKPT研究会)」の講習会(写真)において、当初、私たちは「エコーで筋がどう見えるのか?」を検証していましたが、その対象は徐々に筋ではなくなりました。筋の周囲にある組織や神経・血管の周囲に変化が起こった時に、治療効果が現れることに気づいたからです。しかし、これが何なのかがわかりません。そこで、解剖学のスペシャリストである荒川高光先生(神戸大)と多くのディスカッションを重ね、結果として私たちが治療対象にしているところは神経や血管、筋や関節包といった構造物を物理的につなぎ、組織や器官同士の形態の保持や接着をしている「疎性結合組織」だと確信できるようになりました。

◆運動器理学療法のパラダイムシフト

私たちは、解剖学的な所見と病態運動学的な知見をエコーで可視化し、実際の臨床場面で使える、疎性結合組織に対する理学療法を研究しています。現段階での集大成を『運動学×解剖学×エコー 関節機能障害を「治す!」理学療法のトリセツ』(医学書院)としてまとめました。疎性結合組織の機能を深く考え直すことで、病態との関連が見えてきます。例えば、「変形性関節症でいつも同じような関節外の構



●写真 形態学と運動学に基づく理学療法研究会(MKPT研究会)での講習会の様子

エコーで可視化した知見を臨床で活用するための講習会を、ライブ配信および録画配信にて開催している。右端が筆者。

造が硬くなるのはなぜか?」など、これまで点と点で存在していた異常所見が関連してつながってくるのです。まさに、「connecting the dots」で、運動器疾患の病理理解を深めてくれます。これは、エコーによるゲームチェンジに次いで、「治す」にこだわった理学療法士たちによって必然的に起こったパラダイムシフトだと考えています。

◆疎性結合組織に秘められた可能性

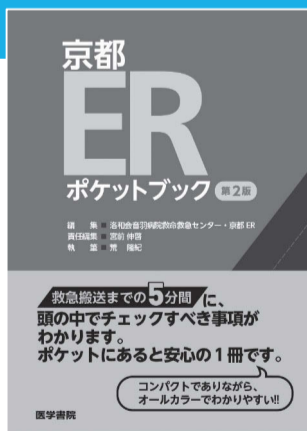
疎性結合組織がどこに存在し、どこまで広がっているのか、明らかになっていない面もあります。これを従来の「解剖学」だけで紐解くのは、実はとても難しいのです。だからこそ、専門分野が少しずつ異なる研究者や臨床家が垣根なく議論を重ね、疎性結合組織の構造を明らかにし、さらにその部位に対する理学療法の効果検証を進めることで、さらなる運動器理学療法のアップデートを図っていきたいと考えています。

●くどう・しんたろう氏/2003年平成医療専門学院理学療法学科卒。井戸田整形外科リハビリテーション科、国際医学技術専門学校教員を経て、14年より森ノ宮医療大講師。16年鈴鹿医療科学大大学院博士後期課程修了。21年より現職。形態学と運動学に基づく理学療法研究会(MKPT研究会)代表。専門は足部のバイオメカニクス、運動器疾患の応用解剖学、客観的動作分析に基づく運動療法の開発。エコーで生体イメージを構築し、動作分析と情報工学をつなぐ領域のシームレス化によって、研究と臨床の融合を試みている。編著に『運動器疾患の「なぜ?」がわかる臨床解剖学』をはじめとする「なぜ?」シリーズ、『運動学×解剖学×エコー 関節機能障害を「治す!」理学療法のトリセツ』(いずれも医学書院)がある。

救急診療のバイブルとして、ぜひ白衣のポケットに!

医学書院

- ◆ER研修の壁を乗り越えるサポーターとして、上級医の頭の中を言語化してコンパクトにまとめました。
- ◆第2版では皆が躓くERでのポイントを意識した改訂。
- ◆主訴別アプローチの「アタマの中」は文字+イラストやフローで図示し、緊急性の高い病態対応の大きな幹をイメージ化。
- ◆コンパクトでありながらオールカラーでわかりやすい!



京都ERポケットブック 第2版

編集: 洛和会音羽病院救急救命センター・京都ER
責任編集: 宮前 伸啓 執筆: 荒 隆紀

- 目次
- I 原則編
 - II 検査編
 - III トリアージで考える主訴別アプローチ編
 - IV 治療編
 - V 特殊分野編
 - VI 使える! ERの覚え書き



◆A6 頁528 2023年
定価: 4,180円(本体4,000円+税10%)
[ISBN 978-4-260-04988-7]

運動器理学療法の限界を突破!

運動学×解剖学×エコー 関節機能障害を「治す!」理学療法のトリセツ

運動器疾患の特徴は、「患者が痛み困っていること」である。そして、運動器理学療法の醍醐味は「治すこと」にある。解剖学で関節周辺の構造を把握し、運動学で機能障害のメカニズムを理解し、エコーで徒手・運動療法を「見える化」する。関節機能障害において、関節周囲の疎性結合組織に着目し、アプローチすることで、即時効果を存分に引き出せる可能性がある。本書では、その可能性を具体的にかつ詳細に可視化して提示する。

編集 工藤慎太郎



B5 頁224 2023年 定価: 5,280円[本体4,800円+税10%] [ISBN978-4-260-04621-3]

医学書院